

僕の日記

(福光疎開地)

第3篇

三三三年飯田寛



天皇の身がはりになつて

死ぬことの出来る



自分はいつても楽しい。

すめらぎの御櫛とクワて死らむ身の

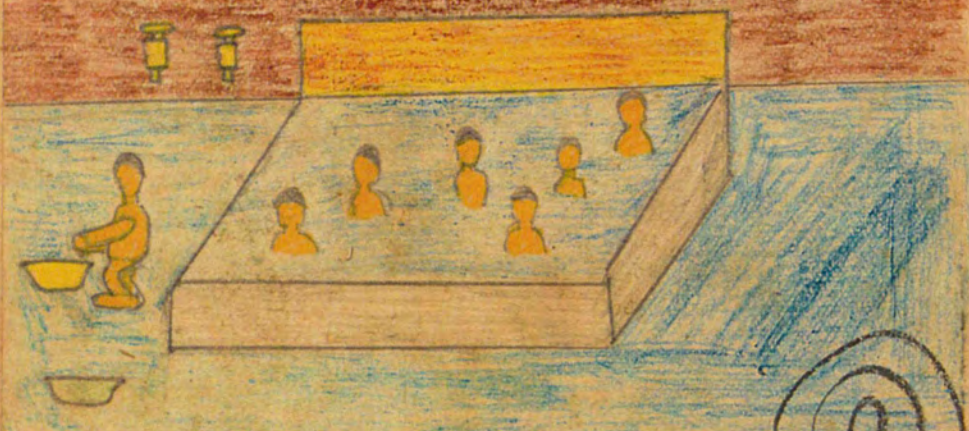
心は常に楽しくありけり

(鈴木重胤作)



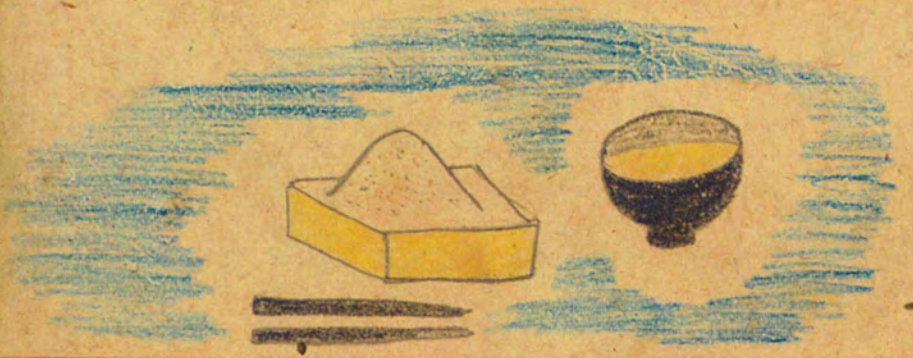
六月二十七日(水)晴

今日はみんな太美村まで
まき動(び)に行つたがぼく
は足のおでこが痛かつたの
で行かなかつた。朝飯を食
べてから女學校の正門の
所でみんなを見送つた。
寮にかへつてから部屋の
せいとんをした。それから
日記を書いた。日記を書
いてしまつて洗たくをし



①

六月二十八日(木)晴
 今日は午前中じげふ
 があった。午後三時か
 らせんとに行つた。せ
 んとへ行つて来たあと
 はとても氣持がよかつ
 た。せんとからかへつ
 て来る時、四年生と五
 年生が小矢部川から
 かへつて来るのに出あ
 った。みんな四年生や



てみると六年生の聲が
 したので外を見ると、も
 うまきを持ってかへつて
 来てみた。それから少し
 たつたら横井君がかへつ
 て来た。みんながかへつて
 来てから女學校で晝
 飯を食べた晝飯はカ
 レーだった。晝飯の時ふ
 と氣がついたら、宮地先
 生がかへつていっしょにや



五年生は洗面キに魚
を入れてみた。夕方
昨日取って来たほたる
が光ってとてもきれい
だった。



六月二十九日(金)晴雨
今日は四年い上は大美村
にまき~~運~~こびに行つた。
三年い下は立のヶ原に山
さいがりに行つたが、ぼ
くは足のおできが痛か
つたので行かなくなつた。
今日は福光校の五年い
上の人か手つたつて下だ
さつた。ぼくと新家君
と松本君と二年女子の



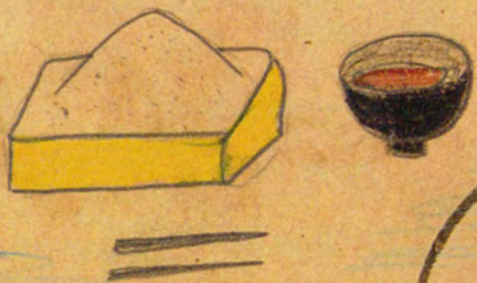
のこった入で、まき運
こびからうかへって来た
福光校の入や四年い上
の入や先生方にお湯を
くんでさし上げた。みん
ながかへって来てから
晝ねをした。夕飯の
時キウリが出た。とて
もおいしかうた。

六月三十日(土)曇
今日は一時間目二時間
目はじげふがあった
三時間目は福光校の
先生が入えいをするの
で**式**があった四時
間目はふ通のじげふ
があった。午後寮に
かへってから月未大
さうじがあった。そ
れから晝ねをした



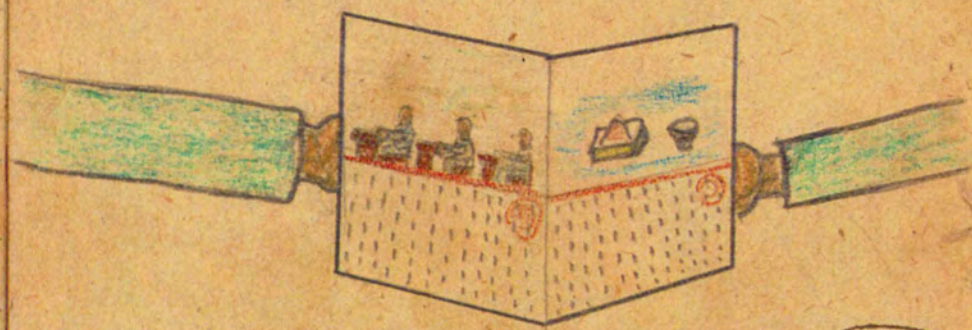
七月一日(日)曇

今日お晝御飯を食べて
寮にかへってから僕は頭
の毛が伸びたのでとこやへ
行った。電気バリカンでや
った。ここの屋へ行って来てから、
宮地先生のまき切りのお
手ついでひきした。おひき
生けんめいにやった。そ
れからせんとに行ったら
あせをながした。うと
ても氣持がよかった。夕
飯の時さやえうどが出た。
七月二日(月)雨
今日は休より日だった。
朝飯を食べて来てから
部屋の清とんをやった
それからトランプや
ゲームをわって遊んだ
晝飯を食べて来てか
ら晝ねをした。

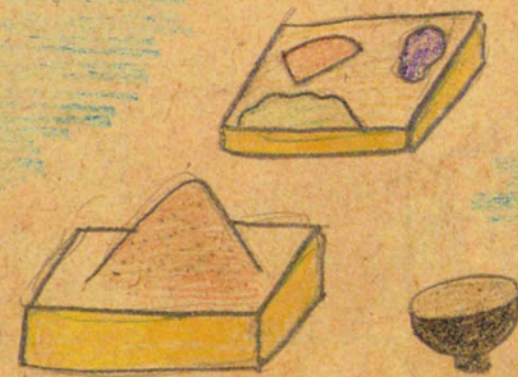


七月三日(火)晴
 今日はいげふがあつた
 一時間目は國語で十二田
 植の所をなうた。二時
 間は算数でわり算の練
 習をした。三時間目は
 習字だった。四時間目
 は音楽だった。五時間
 目は理科で十米を何歩
 で歩くかと言ふこ
 とをしらべた。

七月四日(水)雨
 今日のは普通の通りい
 げふがあつた。お書御
 飯はカレーでとてもあ
 いしかった。寮におへ
 て少へした。たう新
 家君の面會がいちうし
 やつた。夕飯のとき
 しんのいたのが出た
 とてもあいしかった



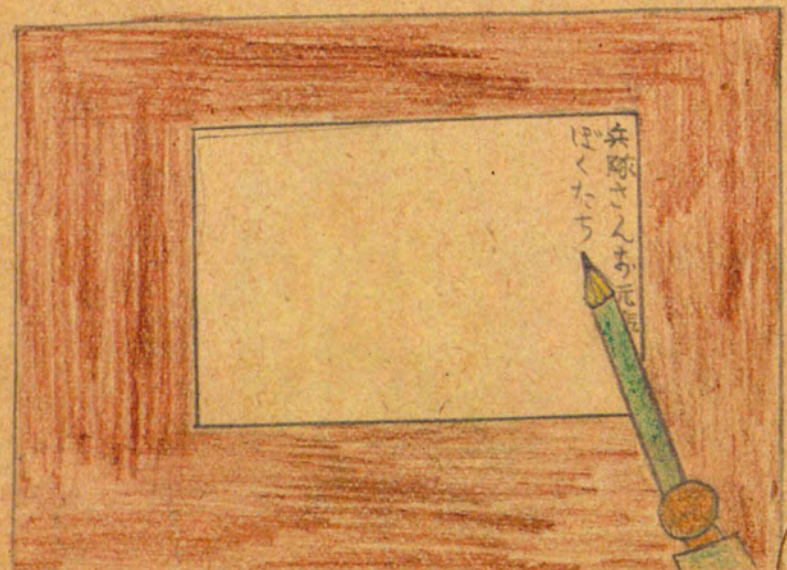
七月六日(金)雨☂
 今日はふ通の通り
 のじげふがあった。
 夕方先生に『日記
 を見ていたただいて
 かへしていただいた
 見たク四重丸が一つ
 あったのでうれし
 かった。これから書
 もつとしつかり書
 ぐつもりだ。



七月五日(木)曇☁
 今日夕飯の時石田
 先生が御けつ(こんなさ)
 ったお祝でごちやう
 が出た。御飯はお赤飯
 てきやべつととろろ
 こんぶが出た。それ
 かつお祝もちも出た
 みんなとてもおいし
 かった。



◎ 五月七日(土)曇 〇〇
 今日は一時間目はふ
 通のじげふがあった
 二時間目と三時間目
 は明日の學徒隊結
 成式のため練習が
 あった練習は運動
 場でやった。運動場は
 水だらけで氣持かわ
 るかったが僕たちは
 元氣でやった。



◎ 五月八日(日)雨
 今日朝飯の前に國民
 學校のかう堂で學徒
 隊結成式と大しやりは
 うはうどく式をやった。
 それかウ寮にかへっ
 て慰問文を書いた。今
 日は中支の兵隊さん
 の所へ出した。夕飯
 の時にたにしんが出た
 とてもおいしかった。

初等科算数



文部省



七月九日(月)雨・晴

今日はじげふがあった。書飯を食べて寮にかへってか、ういり豆がはいきゆうになった。それか、うあさ、うひをした。ぼくは算数のかけ算九々が出来なかつたので困った。これか、ううんと練習してみんなと同じぐらい出来る様にならうと思つた。夕飯を食べて来てか、うきうりときゃべつとじゃがいもとばたとしちゆうがはいきゆうになった。みんなとてもおいしかった。

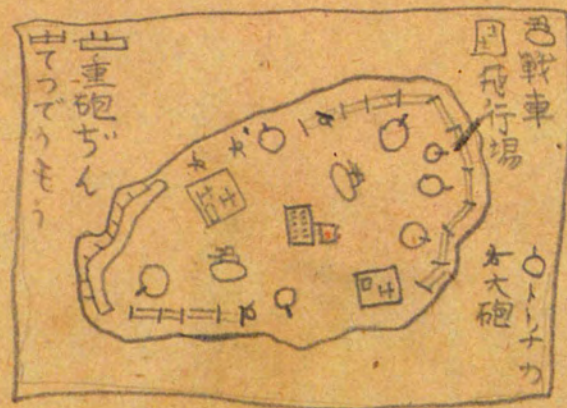
毎日ともしり書けてゐます。



七月十日(火)晴
 今日朝あきて見ると
 しばらくふりに空が
 からりと晴て居た。そ
 れからてんこをやつて
 さうじをやつて女學
 校に朝飯を食べに行
 った。午前中は僕たち
 はじげふをやつた。男
 の先生方は前田寮に
 いらつしやつておも
 ちをおつきになつた。
 午後は寮にかへつて
 晝ねをした。それ
 からせんとに行つた。
 今日ちげん寺湯が
 休すみだつたので朝
 日湯に行つた。夕飯
 の時今日ついたおも
 ちにきなつことお砂
 糖のついたのがはい
 きゆうになつたこと
 でもあいしかつた。



②
 七月十一日(水)晴・雨
 湯に昨日ついたおもちが
 湯に入っていて居てとても
 おいしいかった。それで
 れからうじげふをやった。
 午後寮にかへって晝
 眠をしてからやさしい
 スーぷを先生が分けて
 下さった。とてもおい
 しかった。



①
 七月十二日(木)雨
 う日はいげふがあった。
 二時間目は國語で十五子
 供八百屋の所をなうった。
 二時間目は算数で山口
 先生がいっしょにやんなら
 したので自習だった。三
 時間目は國語だった。
 四時間目は理科で米英
 が本土に上陸して来たから
 それを防ぐようさいを書いた



四月十三日(金)晴
 今日朝あそく起き
 いたので朝飯もあそく
 じげふは二時間目か
 初まった。二時間目は
 國語だったが自習に
 なって四時間目にやった
 三時間目算数で山口
 先生がいっしょやうなか
 ったので自習だった。

今日石崎君の八木君の又志
 本君の辻君の松本君の中島君が
 休すんだ。出発して高宮橋まで
 軍歌を歌って行った。高宮橋を
 わたるとあたりの田には稲が穂



九時に出発し
 た。それから
 て朝會をや
 り運動場に出
 飯を食べてか
 に行つた。朝
 てさうざし
 った。それからいっしょ
 した。帰って居たのでつたか
 うな。田んぼを見て見るの所が
 大田十四日(土曜日)晴

煮てあつた。お百しやうさんた
 ちは昔稲と稲との間の所に生之
 て居る草を取つていらつしやつ
 た。畠には里いもやきうりや南
 瓜を植ゑてあつた。南瓜にはも
 う花が咲いて、實
 がなつて居た。
 立ヶ原につくと
 十分休すんだ。
 それから、各組
 に分かれて、虫や
 花や草を取つた。
 僕たちは宮地先
 生がいらつしやうなかつたの
 で、郡先生につれられて虫や
 花や草などを取つた。あづん
 たりは、十時半に食べた。あづ
 んたりは、おなかかすいて居



たので、とつてもあいしかつた。
 あづんたりを食べてしまふ
 と、ごちやう様をとして、十二
 時まで虫を取つたりして居た。
 僕は横井君と、茂木君と一しよに
 いなごやばつた
 などを取つた。
 一生けんめいに
 取つたが、少ししか
 取れなかつた。十
 二時に又集ま
 った。それから、
 寮にかへつた。
 今日の行軍は少こつつかれたが
 とても面白かつた。
 字も文も読めずともお上手です。



七月十五日(日曜日)雨



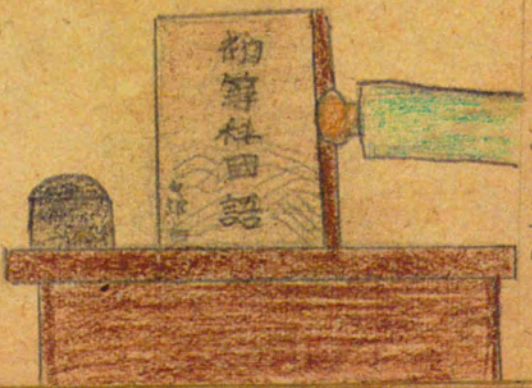
今日は日曜日なので全校運動があ
るはずだったが、雨がふって居て、
運動場がつかへなかつたのでや
うながした。そして、寮で休より
をした。それから山下寮で
休重そくを見て、僕たち
は十一時から
十二時までの間
にやった。僕は24
0キロぐらゐあ
った。晝飯はうずら豆の入い
て居る御飯に卵の入いて居
るおみそ汁が出た。とてもあ
いしかつた。



七月十六日(月曜日)曇



今日は第一日目のいげふがあつた
一時間目は國語だった。二時間目
は算数だった。三時間目は習字
だった。四時間目は立音楽だった
五時間目は理科だった。先生
がいっしょにや
なかつたので自
習になった。
午後寮にかへ
てから宮地先
生が豆を分け
て下さつた。夕飯の時ふと気が
つく。前田先生がいっしょにや
つた。前田先生はしゃうしゅれ
いいやうが来たのでお分かれにい
らうしやつたのだ。



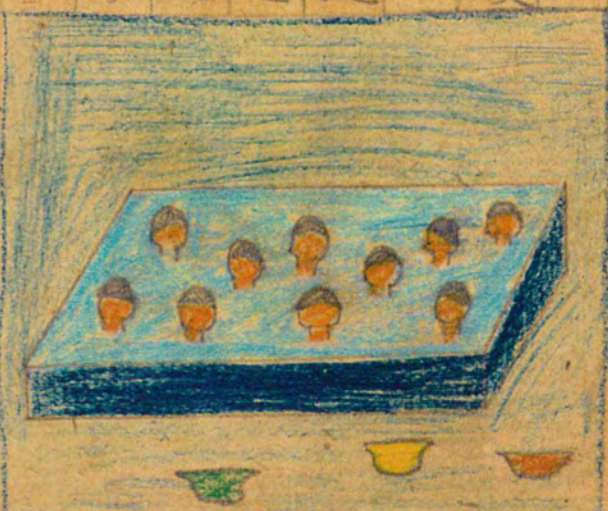
五月十八日（水曜日）雨



中ふと目がさめると、か
さい。と言ふ、聲
加した。僕は急
いであくもと
においてあつた。
防空ふくさう
に身をととの
へた。すると「敵
九目へう北陸地
區に向かつて進んで来て居ます。
と又宮地先生のじやう報をま
つしやう、聲がした。僕は防空
ふくさうに身をととのへる
と又ふとんと中へ入った。



ふとんの中へ入って、しは
らくするとかいよいよになった。
今日はこゆりふうりに昨日
空しゆりけい報になったので
おそく起ききた。そしていげ
もおそく初
まった。午後
寮にかへって
からせんとに
行った。せんと
へ行くとまだ
初まったばかり
リなのでとて
もすいて居た。僕は「さいとう
よ助先生に洗っていただく。
ざあ」とあせをなかつとと
ても氣持がよかつた。寮にかへ
るとすぐ夕飯になった。



七月十九日(木曜日)曇・雨



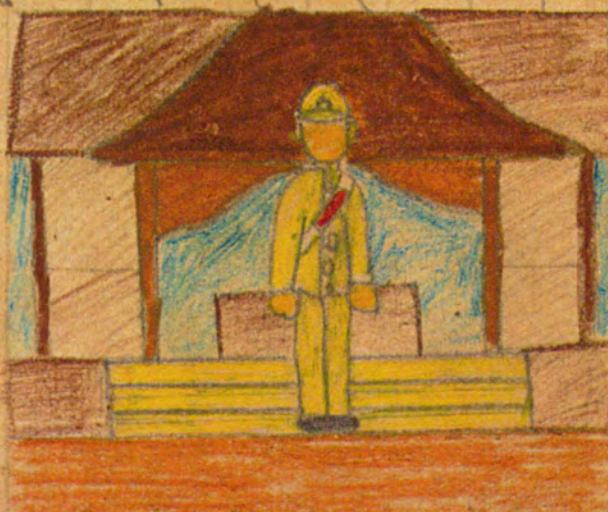
今日(あ)はさうちの時僕は先生に
僕(わ)はてはがきを出しに行
たのは初めてだ。ポストの前
来ると急に家
思ひ出した。寮
にかへって少
たつと朝飯にな
つた。朝飯か
はると先生方
あもちつきに
いらつしやつた。



僕たちは先生方がいらつしや
なかつたのでじげふは自習
なつた。しばらくすると宮地
先生がいらつしやつて大きな
界地圖をさしながから戦き

のお話をして下さつた。

午後四時五十分に又女學校
に集まつた。それから石
田先生が入隊なさるのでそ
のそりかう式をやつた。

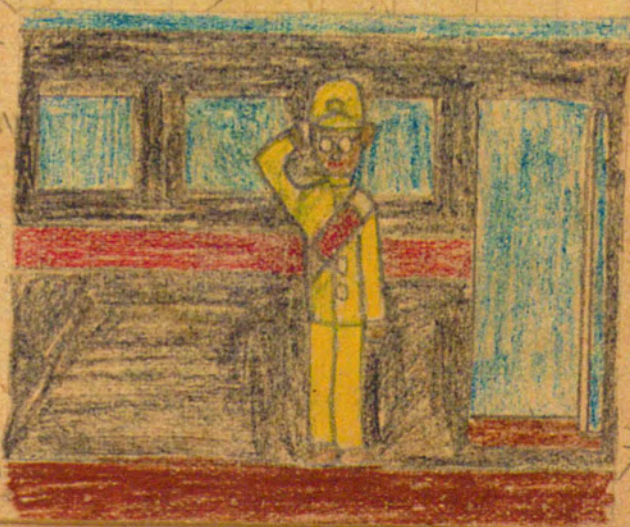


そりかう式
かをはると
あ宮のけい
だいに行つて
きかんさいを
やつた。きか
んさいかをは
つて女學校
にかへると机の上には今日つ
いたあもちにきなよことあ砂糖
のついてゐるのとしんの
たのと御飯か乗つてゐた。

七月二十日(金曜日)晴
 午後宮地先生につれら
 れてちよきすくひに行つた。
 宮地先生は長づつをはいて小
 川の中にお入りになつた。
 草の生えて居る
 所をさがせくと
 やつてあみです
 くふとかかる。初
 めの内はめだが
 しか取れなかつた
 がしばらくする
 とだんく取れ
 初めた。途中でとても暑くなつ
 て来た。宮地先生はちよき
 を夕飯後やいて食べると
 あつしやつた。



七月二十一日(土曜日)雨
 朝朝飯の前に福光
 まで行つて石田先生を
 お送りした。今日も前田先生
 が入隊なやつた。時と同じ様
 にえきえつく
 と色々な軍
 歌を歌つて
 汽車の来る
 のを持つた。
 萬田のさくら
 を歌つて居る
 と汽車が来
 た。石田先生はすぐそれにあ
 乗りになつた。汽車はホー
 と氣てきをたてて「バンザ
 イ」と言ふ聲に送られて出
 発した。



二月二十二日(日曜日)晴



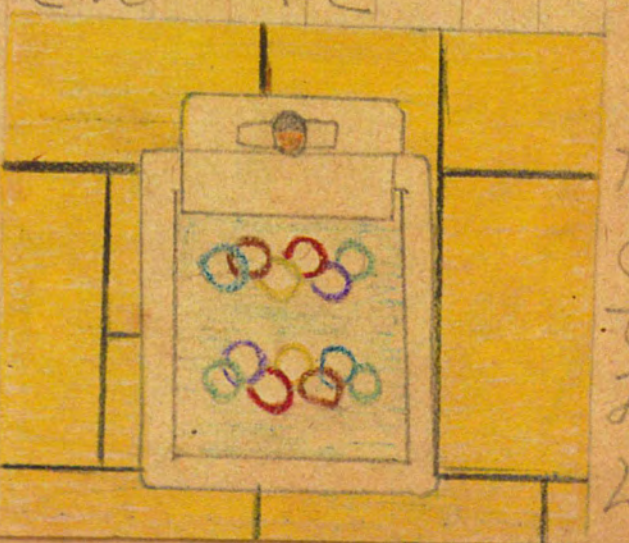
僕はさうぢきやうして居る
急いむねの所がむかつい
て頭が痛くなつたので先生に
言つてねた。みんなは朝飯が
すむと小矢部
川の向かふに
行軍した。
僕はたいくつ
なのでさいとう
千代子先生が
「千夜一夜」と言
ふとても面白い
本を見せていた。がし
ばらくすると眠つてしまつた
ふと目がさめるともろい皆か
へつて来て居た。



七月二十三日(月曜日)晴



僕はまだ頭が痛かつたの
で起きられなかつた。午後
宮地先生が五号室に集ま
れしとおつしやつたのでみん
な行つたが
僕は行けな
かつた。しは
らくすると
石崎君がこ
つて来て僕
に鼻紙で包ん
だ物をくれた
のであけて見るとお菓子
だつた。石崎君にどりしたの
と聞くと先生が分けて下さつた
のだよ。と言つた。お菓子
はとてもおいしかつた。



七月二十四日(火曜日)晴



今日は午後運動場にてボール
を打つて遊びに行つた。そして
てしひきこりをやつて遊ん
だ。夕飯の時お湯のヤ
はいかあつた。
それからウイリ
豆もはいきこ
うになつた。
夕飯後ヤコン
歩に行つた。
ヤコン歩の途中
堀先生のいら
つしやるお家の前を通つた
小矢部川のていぼりの所を
歩るくことでも氣持がよ
かつた。寮にかへるとすぐし
うしん用意になつた。



七月二十五日(水曜日)晴



今日は小矢部川の岸にげんの
草を取り
生かかまをかして下さつた。
僕たちはそれ
でかり取つた。
四年生や五年
生や六年生は
どんどん先に行
つてしまつたが僕
たちはゆうくり
でここで取つて居
た。しばらくするととても暑
くなつて来た。又志本君が頭が
痛くなつた。と言ふと先生が頭
の痛くなつた者は帽子やハンカチ
に水をつけて頭の上のせておけ。



あるから早くかへうり。何
 だか知ってるか。とおつじやつ
 た。だれかかいいり豆かな。と言
 ふと先生かいいり御飯だ。とお
 つじやつた。寮にかへつてかて先
 生はやくそく通
 り分けて下さ
 った。とてもお
 しかった。



七月二十七日(金曜日)晴
 夕飯の時先生が氷砂
 糖をかけて下さった。皆おい
 ちいと言ひながら食べた。とて
 もおいしかった。夕飯後又運
 動場でてつぼ
 うをして遊
 んだ。もう皆
 だいたい飛び
 つける様にな
 った。がまだ
 三年生では横
 井君二年生で
 は茂木君と中
 島君が出来
 なかった。

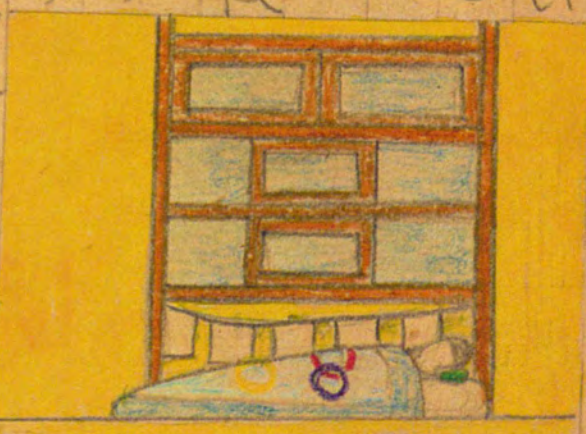




十八日(土曜日)晴
 福光橋の下流の方の小矢
 部川の畔に薬草を取りに行っ
 た。今日は五六年は向かふの岸
 の方を取った。僕たちと二
 年と四年はこ
 ちの岸のを
 取った。今日は
 上流へ行った時
 よりたくさんあ
 った。しばらく
 行くと向かい
 岸に五六年生
 がかかたまつて居るので何か
 と思つた。うどここかのおぢい
 さんとをぢいさんがつりをして
 居るのを見て居るのだった。
 おぢいさんはとでもつるのか



とでも上手だった。もぐつ
 て行くたびに一匹つって来た。
 ふいに見えなくなつたので
 どうしたのかと思つて居た。う
 ぽっくり浮かんで来たのでおぢ
 ろいた。おぢい
 さんは三分ご
 とぐらいにも
 ぐつてはつ
 て来た。鰯子校
 にかへるとす
 ぐ晝飯になつ
 た。晝飯はお
 なかがすいて居たためかとても
 あいしかつた。午後寮にかへ
 ってからひるねをした。



一月二十九日(日曜日)晴

9

今日は日曜日なので全校運動が
あった。僕たちはとうひきょうを
やった。初めの二回は赤がみつ
た。加後の二回は白がみつた。

とうひきょうをや

ってから二年生

や四年生や五年

生や六年生と一

つしよにおしく

うををした。僕は

一生けんめいた

をした。八木君

河井君新家君とたあした

か四年の関君に負けてしま

った。僕はとてまくやじかつた

全校運動かをはってから第

三時間目の授業をやった。

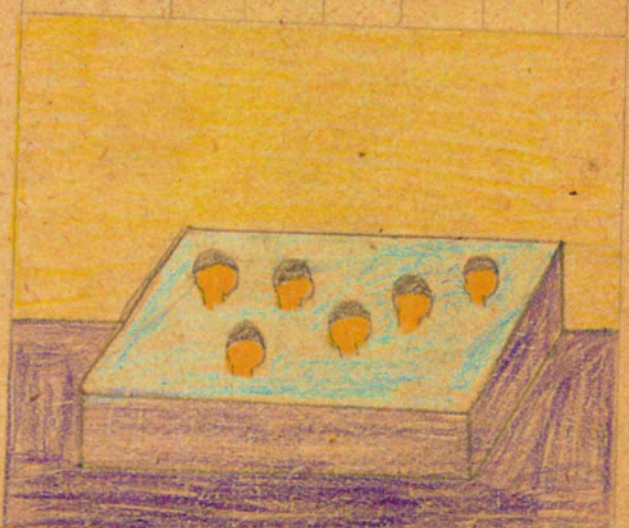


第四時間目の授業かをはって
から晝飯になつた。

午後寮にかへつてからすぐ
お風呂へ行つた。今日は早

く行つたのでとてまきすいて
居た。あせ

を流すとと
てもいい氣
持たつた。



大月三十(日)火曜日晴



午前中授業があつた。
各寮舎の月末大さうじ
があつた。それから自分の所
持品の一せいけんヤがあつた

皆自分の所持
品一覽表を作つ

た。それは自

分の所持品を

全部書くの

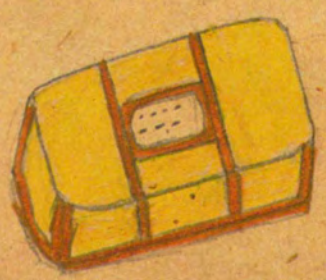
だつた。僕はわ

りあゝ早く書け

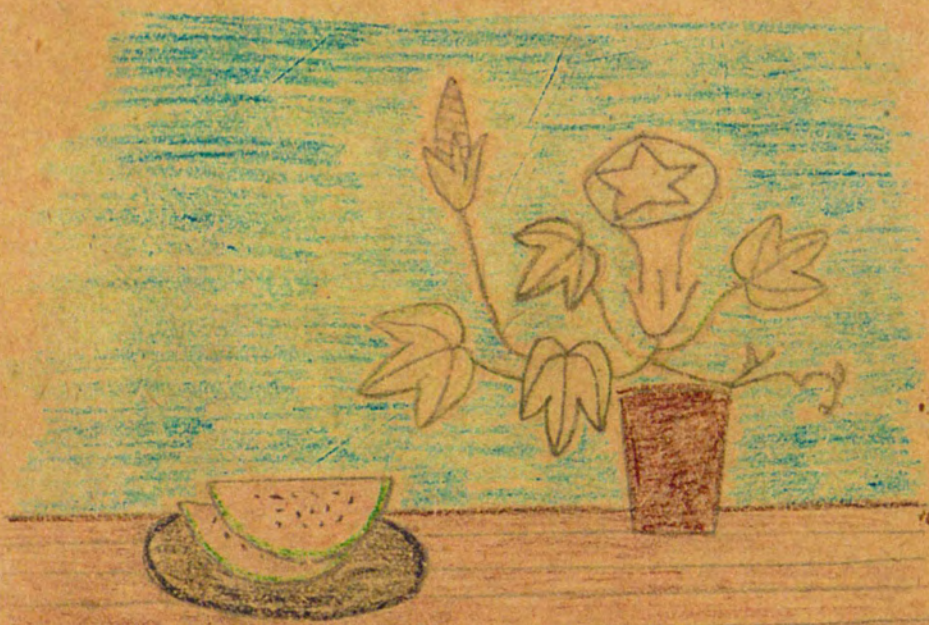
た。清とんをや

て休すんで居ると夕飯になつ

た。



日記帳



三ノ三
飯田寛

福光疎開地第4篇

①

に	察	に	り	つ	ば	習	い	ら	後	マ	シ
い	に	な	出	て	ら	を	の	だ	一	四	日
り	か	つ	た	甲	く	し	で	時	時	は	
米	へ	た	り	ら	入	た	先	川	半	間	三
を	つ	の	し	平	い	り	生	に	か	日	三
食	た	で	て	し	つ	自	に	つ	ら	に	間
べ	水	居	を	て	分	手	く	小	畫	日	日
た	そ	泳	る	し	か	で	を	と	矢	飯	ま
。	し	を	内	た	ら	練	引	僕	部	を	で
あ	て	止	に	。	こ	習	ひ	た	川	食	授
い	あ	め	三	入	ん	し	て	ち	に	べ	業
し	や	て	時	い	度	た	い	は	水	た	を
か	つ		つ	は	り	た	ま	泳	。	し	晴
つ			た	川	し	だ	だ	に	そ	た	
た			原	た	い	泳	行	れ	。	そ	
			に	。	て	げ	く	は	そ		
			上	し	練	な	か	午	し		

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

②

と	た	女	外	だ	へ	の	竟	來	れ	け	昨
敵	い	學	へ	い	た	で	を	た	か	い	日
機	ひ	校	出	ひ	。	急	し	。	ら	ほ	の
が	じ	の	て	。	そ	い	て	す	間	う	夜
行	た	防	並	と	れ	で	い	る	も	の	中
つ	。	空	ん	言	か	防	ら	と	な	さ	ふ
た	し	が	で	ふ	ら	空	っ	千	く	い	と
の	ば	う	か	聲	少	ふ	し	代	敵	れ	目
で	ら	の	け	が	し	く	や	子	機	ん	が
又	く	所	足	した	。	さ	い	先	の	が	さ
眠	す	に	て	た	つ	り	と	生	ば	な	め
っ	る		の	と	に	あ	が	が	く	つ	る
た			で	喜	身	を	し	い	が	居	と
			門	先	と	と	や	ひ	聞	た	し
			生	の	の	の	の	の	用	。	ゆ
			の	の	の	の	の	の	用	。	そ



10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

平和祈念プロジェクト 21



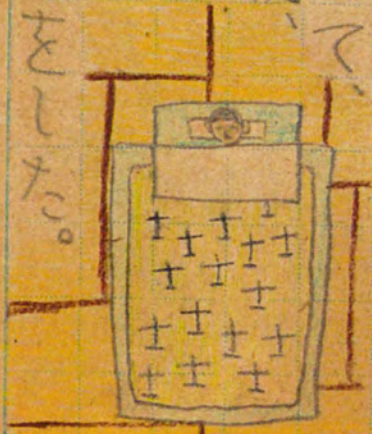
れ朝行大ぐいをんだや生今
 い日くき福だ洗水さつ生日
 だの途な光いつつてかは
 つ光中橋橋にたてた虫こ四八
 たが雲のよ集。居。下れ時月
 。さの所り合そたそだをに五
 一し切ま下ししのれしお起日
 時てれで流たてでかの飲床
 間と問行の。五すらおみし百
 位てか軍わそ時ぐ山薬なた。曜
 歩きらしりしま學下寮皆いす
 るき。た。合てで校寮のに分と晴
 く。それ神社のてはだ下し子



01 6 8 4 9 5 7 3 2 1



そさ女寮た日體めな豆朝合
 れつ學に。もをてり御の會日
 かた校か。十午をき水す飯の時か
 らいでへ。前た泳すかでは先十
 畫リ先。時九へをからは生月
 飯飯生た。で時かすたそなく今四
 まを分そ泳ら。り行間て日夏
 で食けしを十とお軍學校でいま日
 ひべけして止。め時つをししたの授の御飯に大
 るた。下朝。てまやたの授の御飯に大
 眠を。した。水泳をし今身止に大



01 6 8 4 9 5 7 3 2 1

平和祈念プロジェクト 21

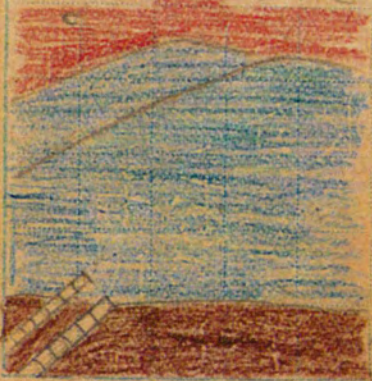


今日八月六日 午前中水泳をした。 曇晴
 魚を取った。 僕はもう少し泳いで止めた。 今日泳げ皆
 さうだつた。 たが泳げなかつた。 早く止めた。 曇
 つて居たので少し水泳を早く止めた。 今日泳げ皆
 寮にかべつてから晝飯まで晝飯を分けた。 曇
 晝飯がすんで寮にかへつてから晝飯まで晝飯を分けた。 曇
 先生がいりて皆と米といり粉を分け
 して下さつた。 それから又晝
 眠をした。 夕飯後寮に晝
 かへつた。 自習をし居ると
 宮地先生がおかへりになつた。



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

と目てき地の橋についた。 皆そこで十
 分間休けいした。 途中大やうかへつて来
 た。 照りついでと来る暑かつた。 朝飯は
 かん。 朝飯は学校の
 かへるとすぐて朝飯になつた。 朝飯は
 おなかへつた。 午前の
 とかなすの。 午前の
 ようかすの。 午前の
 水を泳がし。 水泳が
 通つた。 寮に水泳が
 をはつた。 寮に水泳が
 かつた。 寮に水泳が



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

平和祈念プロジェクト 21

皆ばなれ皆米はへ用だつ今日
 どいらかとかやいつ竟つた日は
 つい引がていだてをたは
 となつふもリかしの午八八月
 笑あこざお粉とらたで前中半八
 つしけいやおす。寮中はか日
 たとがてしすつぐ午後にはから
 。言度ごかるし宮後か床ら
 つ度んつめや地晝へ屋大永
 たあなたをつ先飯へ証曜
 のれの分けいで生をて行は旦
 でだけいりが食明つう晴
 てり引べ日たど
 下豆つて引らく
 さやこ寮つ休式
 ついしにこすか
 たりいかすみあ



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

校つ呂宮も時ふ日た寮の今
 長てに行先おには本引僕旧家は
 先生了つ生しか馬校長つた館へ午八月
 のとた。つつか鈴長こち山西つ中七
 お國民おれたも生す山下尾こ山下日
 が學風ら。のがさ寮のよの曜
 あ校呂れそおいらう新館のおいだ新館旦
 た。から。お風ら。がし。の家たが館晴
 堂へ。出や午後二へつたが本田
 で。た。た。と。と。三に九し下ん





1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

①
 敬宮川小そものらへかか
 へ地で矢れおおつつる
 て先洗部かい父してと僕は
 下生た川らし様や少とは朝八月
 さがくに先いがつして一飯月
 つか色が洗生お持たたも番が十日
 た。のんくつ子て午と持めむと
 泳でに行れをい後横がにと金
 ぎか行ら分ら宮井好やすす
 方らつれけつ地君かつか皆
 を。たててし先のつた。床晴
 。下や生おた。頭屋へ
 かつた横様寮の毛行
 したと井がいか
 だ。で君い
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10




②
 寮のや着いりしか皆持學
 舎た防がへやばり乗つ用日
 のな空へ上兮らりつて品は
 せにふるげつくをけて本と朝八月
 い乗くシた。かすを持つて田洗面が九日
 とつさヤ。つとて五年へたりん
 んけりツ學てとて來るやつ貝で
 をた。どパ品い皆持の六た。と
 た。午はンやふつてを年。空
 。後下ツすとて來たのので居た。や
 は。ぐんだのので居た。や
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



木女研草五晝ら四ら時がけ目
 君學究や時飯ら四つ時へんは
 が校を木間後し間し目しを國
 こにしや目先や目やはてや語
 ろ入て花は生らもら習字たつ
 んいかの理がな音なかでた。た
 だらへ研究でリつたつた。僕
 のうつ究を色米たつた。日は二
 でとてをし々をのたのたが一時
 助したてたの分でがでが高ちけ目
 けたら。虫けて習木習田遠んは
 上げ八  下にな先生なつが
 た。  さなつがたい
 たいたいたい

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

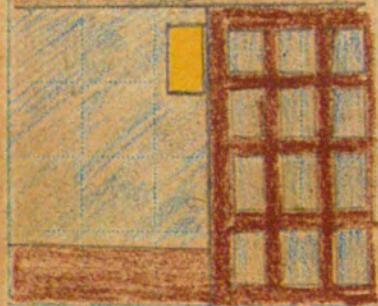
業今日  つと下運でけで
 が日百た宮さん本いかま日
 あは曜。地つだ。寮いきは八
 つ第日八月先生。書でけは午
 た。一日晴十日八尾か先休のんき日
 一目二日八尾のへ生すサイ。び
 時間の授。町に。おか。へり。に
 なる。



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

帳
面
と
ゆ
え
は
ソ
ウ
ま
せ
ん

八月十六日 金曜日 晴
 八月十七日 金曜日 晴
 八月十八日 金曜日 晴
 八月十九日 金曜日 晴
 八月二十日 金曜日 晴
 八月二十一日 金曜日 晴
 八月二十二日 金曜日 晴
 八月二十三日 金曜日 晴
 八月二十四日 金曜日 晴
 八月二十五日 金曜日 晴
 八月二十六日 金曜日 晴
 八月二十七日 金曜日 晴
 八月二十八日 金曜日 晴
 八月二十九日 金曜日 晴
 八月三十日 金曜日 晴



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

いつもとしてもよき事をしてゐるのを感じてす

八月十六日 金曜日 晴
 八月十七日 金曜日 晴
 八月十八日 金曜日 晴
 八月十九日 金曜日 晴
 八月二十日 金曜日 晴
 八月二十一日 金曜日 晴
 八月二十二日 金曜日 晴
 八月二十三日 金曜日 晴
 八月二十四日 金曜日 晴
 八月二十五日 金曜日 晴
 八月二十六日 金曜日 晴
 八月二十七日 金曜日 晴
 八月二十八日 金曜日 晴
 八月二十九日 金曜日 晴
 八月三十日 金曜日 晴



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



八月十八日 授業 王曜日
 八月十九日 授業 王曜日
 八月二十日 授業 王曜日
 八月二十一日 授業 王曜日
 八月二十二日 授業 王曜日
 八月二十三日 授業 王曜日
 八月二十四日 授業 王曜日
 八月二十五日 授業 王曜日
 八月二十六日 授業 王曜日
 八月二十七日 授業 王曜日
 八月二十八日 授業 王曜日
 八月二十九日 授業 王曜日
 八月三十日 授業 王曜日



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



八月十九日 授業 王曜日
 八月二十日 授業 王曜日
 八月二十一日 授業 王曜日
 八月二十二日 授業 王曜日
 八月二十三日 授業 王曜日
 八月二十四日 授業 王曜日
 八月二十五日 授業 王曜日
 八月二十六日 授業 王曜日
 八月二十七日 授業 王曜日
 八月二十八日 授業 王曜日
 八月二十九日 授業 王曜日
 八月三十日 授業 王曜日



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

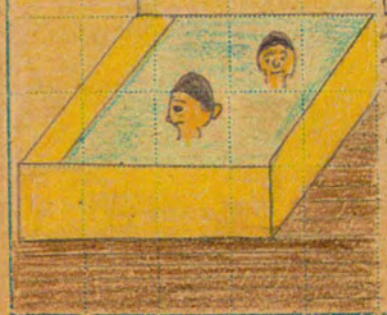
夕君らまるとだ時を敷の問
 飯はつすねた間取だ御日
 のとじとをた目りつ神はは
 時てや久しはにたち國第
 はもつ老て午國行かよ語四
 今日喜て本居後語つ三なくで日二
 はんたのふ寮つの女習十の十一
 六で久會目ひ。自かたに業日
 年生た志が目をる四修は。ぎのあ曜
 した。本いさねを間なき。ゆ間こと。晴
 した。理。の。魚算所一時



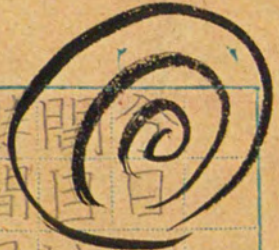
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



とんの畫の三修呂田問
 てのか飯所を間になき目
 も家出はを習目つでは算第
 氣のた。おか。つはたい體數三
 持お。か。つはたのら操で日二
 が風午ずた。國。語。で。つ。だ。け。目。十
 好呂後に。四。で。僕。し。つ。い。の。日
 かに。は。な。す。時。二。は。や。た。算。授
 入本。の。間。十。繪。ら。が。の。業。月
 たい。田。の。日。に。日。な。福。練。を。曜
 した。た。は。に。記。を。つ。先。山。習。や。日
 した。た。は。に。記。を。つ。先。山。習。を。つ。晴
 した。た。は。に。記。を。つ。先。山。習。を。つ。晴
 した。た。は。に。記。を。つ。先。山。習。を。つ。晴



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



ちが久米川に集
 度が一年間たつた
 御飯は何も入らな
 たり箱に山もけり
 それからもしやけ
 うりかの塩もみ出
 出した。じやも出
 いかつかつじやも
 かいした。かつかつ
 つかつた。食べた。



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



八月二十二日 永曜旦 晴
 朝會の前には庭の草をむしつた
 命やつた。食べた。午後には
 おやつに食ぱんと南風にしな
 て居るのとかかりんとと
 とてもおもいにかつた。川
 君のお母様が持つていら
 のだ。それに行つた。川
 洗たくをしに行つた。川
 で洗たくをしに行つた。川
 かから宮地先生がお面白
 話をし下さつた。面白

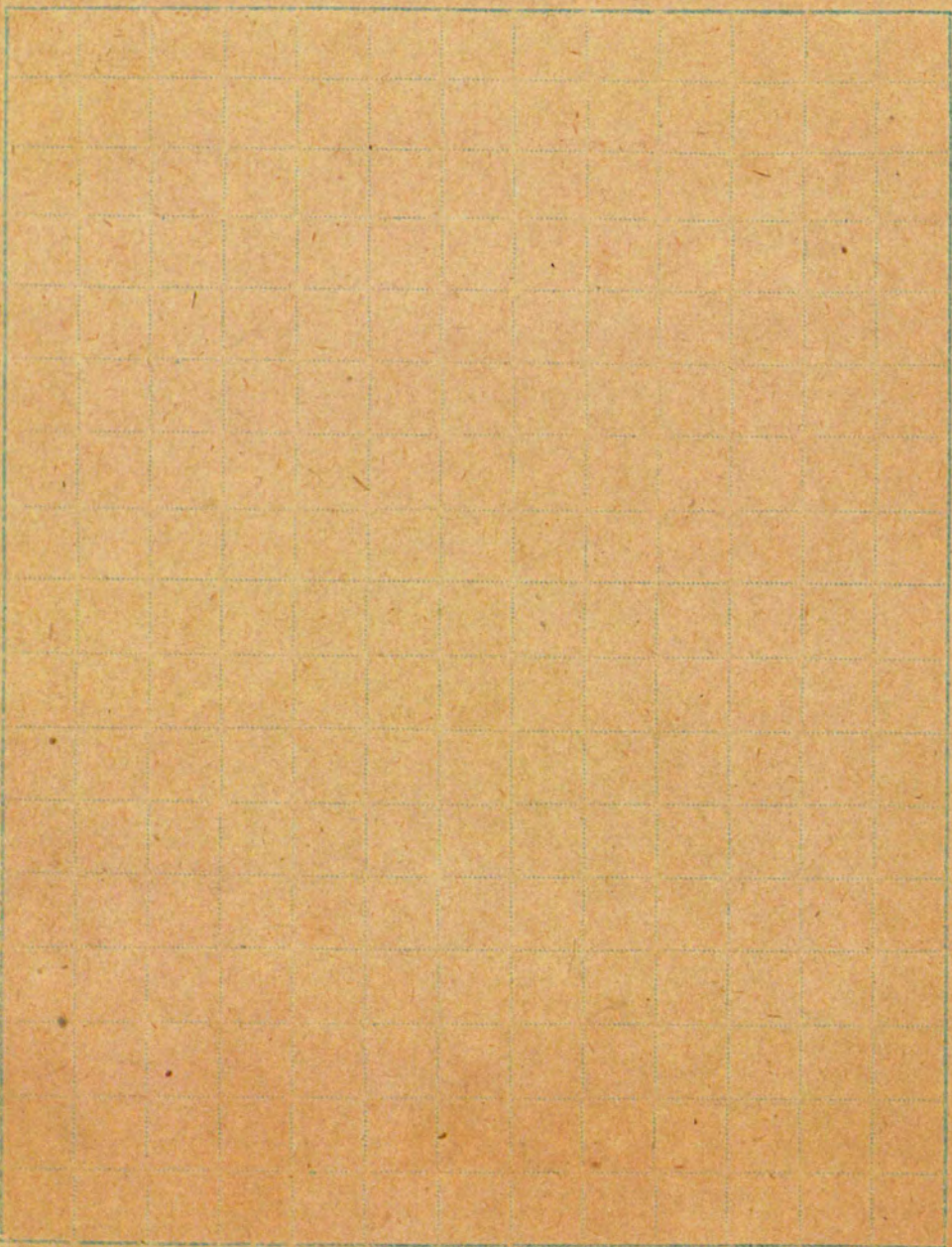


皆と話しあふるが面白

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



つつ行き日いつさ生た来
 たてつめのの理てつが。て日
 。来た。た。夜を来た。おそかは
 て。夕そ樂た。か午時に。れら休八
 か夕飯後か。そ。會。そ。繪は。す。圖。の。日。十
 娛。樂。會。を。そ。れ。日。記。に。か。と。書。算。水
 會。に。入。る。か。ら。の。か。へ。大。豆。を。分。け。て。下
 や。へ。に。を。今。せ。へ。大。豆。を。分。け。て。下

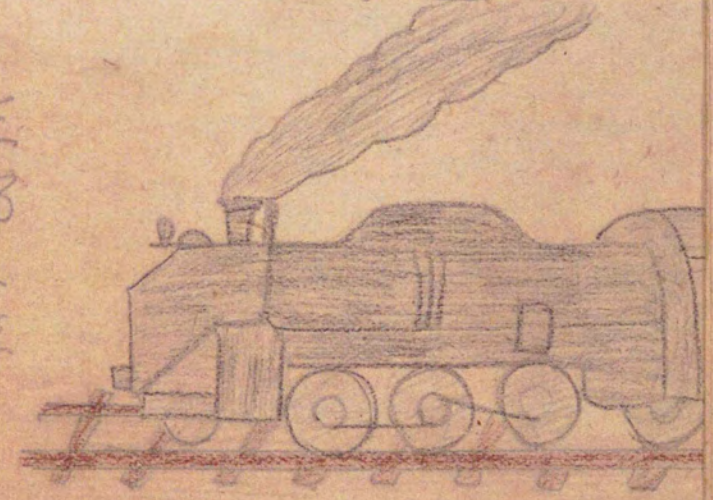


1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

日

記



三年

飯田寛

福光疎開地第5篇

平和祈念プロジェクト 21



一日(土曜日)曇

朝食後、松本君が疎
開學園を止めて東京の家
にかへるので福光の停車
場まで送りに行きました。
福光のえきにつ
いて五分位する
と汽車が来まし
た。松本君はお母
さんと一っしよ
にすぐ乗りました。
汽車は「やうなう」と
言ふ聲に送られて出發しました。



二日(日曜日)晴

日は日曜日なので全校運
動がありました。僕達はすま
うをしましました。一等初めは主
部で赤白に分かれて勝ぬきを
しました。その時は白が勝
ちました。それが
う勝ぬきでないの
をやりました。そ
れは赤が勝ちました。
それが終つてから
僕と八木君は先生の使ひで、
薬屋に薬を買ひに行きました。



九月三日(月曜日)曇

今日は第四日の授業がありました。一時間目は国語で二十二年軍大利根の所を習ひました。二時間目は算数で寄算引算の練習をしました。三時間目は国語で軍大利根の所を習ひました。四時間目は理科でした。加藤先生がいろいろしゃべりなかつたので自修になりました。



九月四日(火曜日)雨

今日は第五日の授業をしました。一時間目は図書でした。二時間目は国語で三時間目は理科で四時間目は算数でした。午後寮にかへると先生がきな粉のついたとて、先生がおおにぎりをつけて下さいました。とてもおいしかったです。それから八木君のお父様が東京のお話をして下さいました。



九月五日(水曜日)晴

今日はあべん當を持って小太郎川の下流の安居寺と言ふお寺に行軍をしました。やく一里半位歩るくとやつとつきました。つくと宮地先生がこのお寺のいはれのお話をして下さいました。十一時におべん當を食べました。おなかかへつて居たせいかとてお



しい様な気がしました。御飯を食べ終つてから十二時半まで逸んで居ました。十二時半に又集まつてかへりました。かへる時は西野さんののり業會によつて野さいをもらつてかへりました。學校にかへるとおやつに西瓜が出ました。夕飯はさかなとなすの入いつて居るませ御飯でした。



九月六日(木曜日)・曇
 今日(○)は休養日だったの
 で朝會をやつてからす
 ぐ寮にかへつて来まし
 た。そしてせいとんが終
 った。それから本を讀んだり
 ゲームをしたりして遊
 びました。夕
 食後寮にか
 へつて来てか
 ー娛樂會をや
 りました。こ
 ても面白かったです。



九月七日(金曜日)・雨・曇
 今日(○)は第一日目の授業が
 ありました。今日から一時
 間が四十五分授業になりま
 した。そして午前中は三
 時間しかなくて十一時半に
 晝飯になる様になりました
 として今日から、
 時間表がかはりま
 した。夕飯後寮か
 にかへつてから福
 山先生とトランプを
 して遊びました。



九月八日(土曜日)・雨
 今日(○)は思ひ出の大詔は
 うの一日です。第二日
 の授業がありました。
 一時間目は國語で二十
 二軍犬利根の所を習ひ
 ました。二時間目は算數
 でした。三時間目は圖書
 でした。それか
 ー晝飯いな
 りました。夕飯
 後先生がごんた
 んを分けて下さい
 ました。



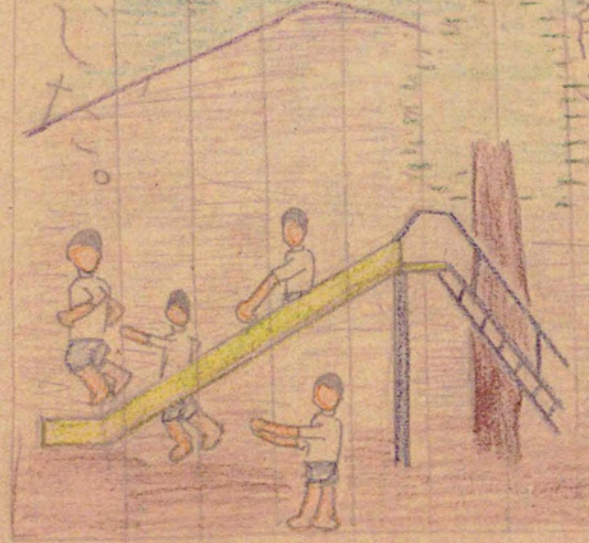
九月九日(日曜日)・雨
 今日(○)は日曜日なので運動
 場(○)全校運動があるはず
 でしたが雨が降って居たの
 でかきり堂(○)朝會
 等初めに禮會の時やる體操
 をしました。それか
 ー足をし
 ました。今まで寒か
 ったのがだんく
 あったかくなつて
 来て終には暑く
 なつて来て汗が
 たら〜流れ落ちて来
 ました。



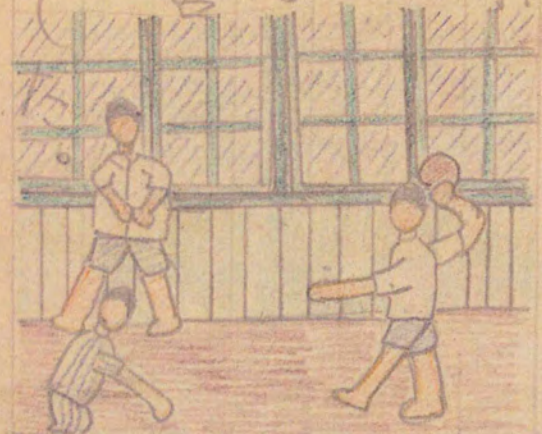
それからとうひ球をや
りました。初めは白が勝
ちました。があとで赤が
勝ちました。全部やって
てい學年の優勝組は四年
の赤でした。それが終つ
てから手ぬぐひ取りを
やりました。
晝飯の時は
南風のお砂
糖でいたたのか
出ました。と
てもおいしいしかった。



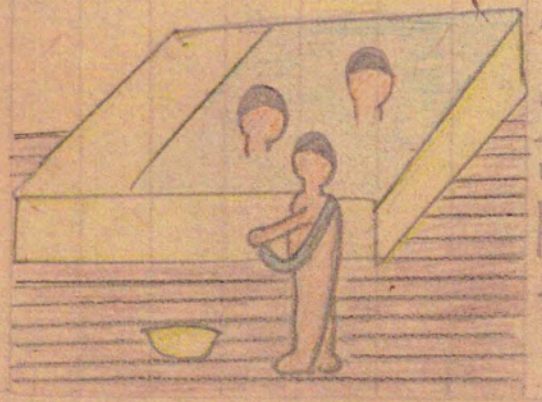
九月十日(月曜日)曇
今日は第三日目の授業があ
りました。今日は午後寮に
かへうないて學校に居まし
た。おやつに三時から南風
のいたたのが學
校で出まし
た。おやつ
を食べてか
ら運動場
に出て皆で
元氣よく運
動をしました。



九月十一日(火曜日)雨
今日は又午後學校に居
ました。今日は雨が降つて
居たのでかり堂で運動
をしました。初めに鬼ご
っこをして遊びました。
それからラボ
ールでぶつけ
っこをしました
した。教室に
行ってから宮
地先生とトラ
ンプをしまし



九月十二日(水曜日)曇
今日は午前十時から國民
學校のさいほう室で主事
先生のお話がありました。
そのお話によるとまだ
とうり分の間集だん疎開を
つづけるヤウ
です。午後は
入浴でした。
僕達は宮地先
生とべっしよ
に入りました。



⑨

十三日(木曜日) 富
は午前十時から床
行ききました。長く伸
びて居た頭の毛をかり
取るととてもヤっぱり
して気持が好くなりま
した。午後、
かり堂で運
動をして居
ると先生が
呼びにい、
しやうたので、
何かと思ったら英れいをかへで



⑩

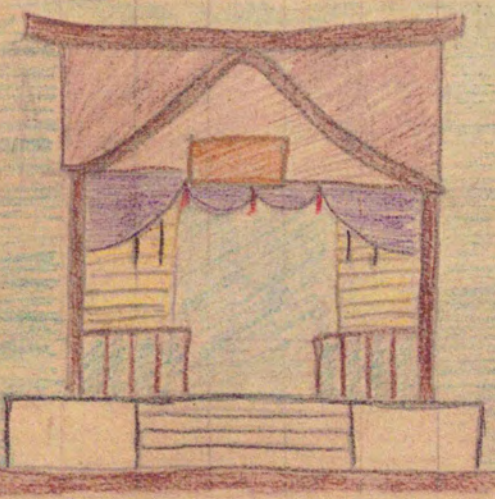
十四日(金曜日) 曇雨
は五六年は砂子谷に、二
年間は桑山のふ本のト
ネルのある所まで行軍しま
した。五六年は砂子谷の国
民學校に南尻を首こもらひ
に行つたのです。
出発する時に
ぼつくと降って
来たのでかさ
をヤッとして行き
ました。向か
ふへついでか、う、ままだま



くはなつてみませんが、
栗の實を取って食べまし
た。それから十一時まで、
宮地先生に黒部川のお
話のつづきをしていただ
きました。とても面白かつ
たでした。十一
時から晝飯
でした。晝飯
を食べてから
すぐ寮にか
へつて休養
しました。



十五日(土曜日) 曇雨
は福光の字佐八幡様のお
祭です。朝禮がすんでから、すぐ
しん體けんさがありました。
僕は23.5キロゲラムでした。
それから神社
参拜をしまし
た。午後けんこ
うしんだんが
ありました。
夕飯は今日は
お粥なので、
赤飯と南尻のたのが出ました。

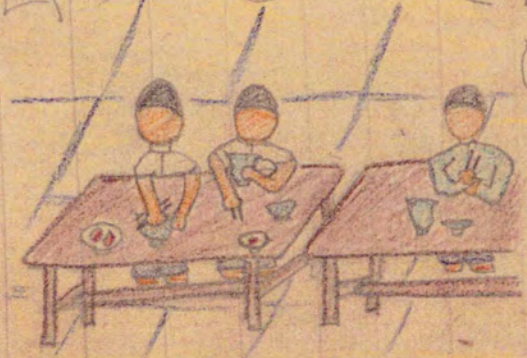




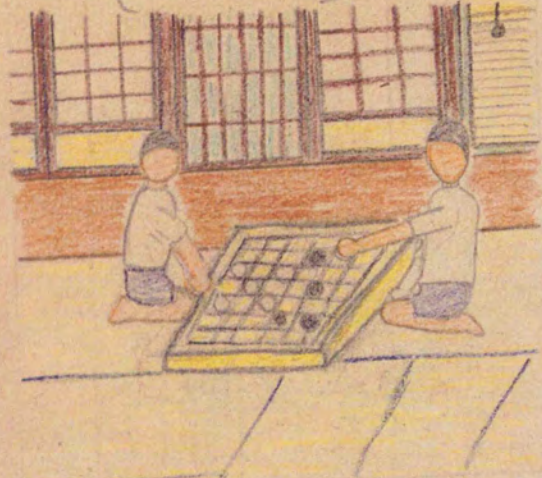
十六日(日曜日) 曇
 會がすんでから、僕達は女學校の校舎をかへして國民學校のさかいほう(ほう)室をかきりる事になつたので四年以上の人は女學校の大きなうちをしました。僕達は福山先生に本を讀んでいたので、十時なうせう(ころ)人祭(まつり)なので神社を參拜(まじり)した。



しました。それが終つてからすぐ晝飯(ひるめし)になりました。晝飯(ひるめし)はおさ(ほう)室(むろ)で食べました。午後は寮(れいさう)で休養(やすみ)しました。お三時(さんじ)に本田(ほんだ)さんの家で卯井(うづい)を出して下(くだ)さいました。牛(うし)にくも入(い)つて居(ゐ)ました。さ(さい)いもも入(い)つて居(ゐ)ました。皆(みな)めづ(め)う(う)い(い)いので大喜(おどろ)び出(で)した。



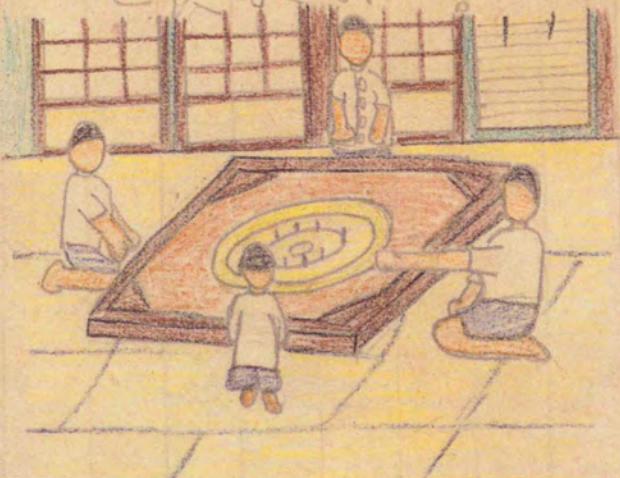
九月十七日(月曜日) 雨
 僕は休養(やすみ)日(ひ)でした。朝(あ)晝飯(ひるめし)を食(た)べて來(こ)てから、夕飯(ゆふめし)後(ご)に寮(れいさう)にかへつて、又(また)ゲーム(げーむ)をやりました。夕飯(ゆふめし)後(ご)に寮(れいさう)で遊(あ)そびました。言(い)地(ぢ)先生(せんせい)のお話(わ)は一等(いちとう)お終(しま)りにありました。娛樂會(ごらくかい)が終(しま)つてから、今度(こんど)の發表會(はつぱいかい)の練習(れんしゅう)をしました。



それ(それ)から、出席(しゅっせき)ほう(ほう)のいゆん(い)に宮(みや)地(ぢ)先生(せんせい)と五目(ごもく)なら(ら)べ(べ)をやり(や)りました。



九月十八日(火曜日)曇・雨
 今日(十八日)等一日目の授業が
 ありました。書(飯を食
 べて寮に帰ってから、又聞
 球ばんのゲートムをやりま
 した。とても面白いゲ
 ームでした。
 夕飯後、寮
 に帰って来
 てから、発表
 會の練習をし
 ました。



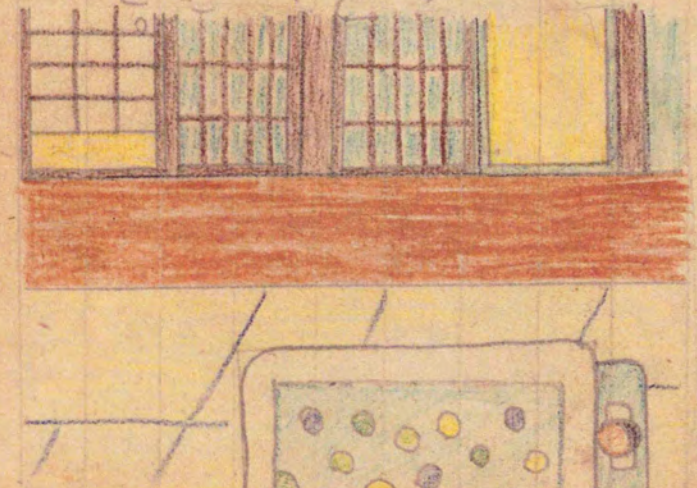
九月十九日(水曜日)晴
 今日(十九日)は等二日目の授業が
 ありました。四時間目の圖
 書の時間に、林先生と一っしよ
 に近くの田んぼにいなごを
 取りに行きました。
 た。午後、寮で
 お風呂がありました。夕飯
 後、寮に帰って
 来てから、発表
 會の練習をし
 ました。



九月二十日(木曜日)晴
 今日(二十日)は途中いなごを取り
 ました。安宿寺と福光橋
 の間位にある。わり合大ま
 な橋の所ま
 で行軍しま
 した。おべん
 當は南飯
 でした。おべん
 當を食べて
 から宮地先
 生にお話を
 していただきました。



九月二十一日(金曜日)晴
 今日(二十一日)朝起きて見ると、昨日の
 朝頭が痛かったのを無理し
 て行軍に行つたためか、とて
 も頭が痛くな
 って来たので
 体温をはか
 たら、8度あ
 ったので床を
 引いて眠りま
 した。とても
 いくつでした。



⑨

八月二十二日(土曜日)曇
今朝起きて體温を
見ると7度5分
なので又ねて居ました
ねて居ると
たいくつなの
で色く々な
事をさうさ
りして下の續
の様な新兵
器が出キて居
れば好かつたの
じと思ひま
した。



⑩

八月二十三日(日曜日)雨・晴
今日は7度だった
ので起きまし
た。はひがんのお
ちゅう日な
ので、國民學校の
禮法室を
おかりして、學
校全体で娛樂
會をやりまし
た。國民儀禮を
やつて開會の
歌を歌ひまし
た。一番目
は五年女子

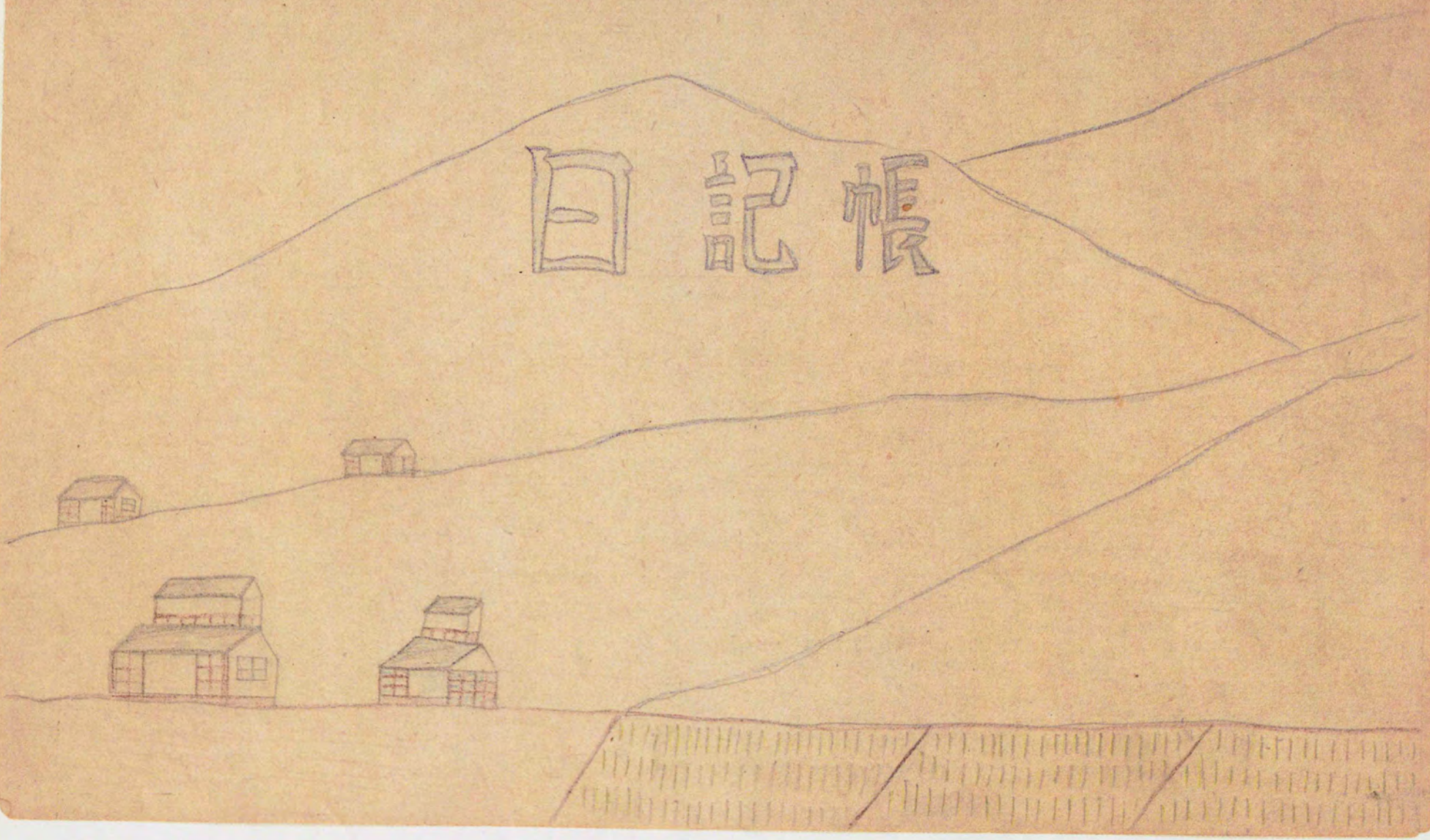


ののぞき眠がねと言
ふげキでした。一番目は
一部六年の手まり歌でし
た。三番目は、よく僕達
の番でした。僕達は木
のぼん踊りをやりました
。手ぬぐひでほぼっつ
かむりをして、女子は
すげがヤカをかま
り、キ物を来て、おび
をしてやりました。
まん中へ出て、八木君
が踊ると、とてもお
かしくなかつた。な
ので皆ごとと笑ひま
した。

僕達のが終ると今度
は西尾寮がじしきの御
旗と言ふげキでした。そ
の次は二部六年の「ぼ
と」と言ふげキでした。そ
れから三年女子の「こ
ぶ」取りちいさんのげ
キでした。次は四年女
子の物まね出し。一
等終りは六年男子の
思ひ出の軍歌集です。
皆とても面白かつた
です。すぐ晝飯になり
ました。夕飯はおはぎ
と南流のいたの

福光珠開地第6巻

日記帳





① 月一日(月曜日)晴・夕
 朝、僕達が朝のてん呼を紋
 木君のお兄さんが金澤の病

院いしんやつを受けい
 自動車で行きました。

皆、富山に来てから
 自動車なんかあ

んまり見ないので
 めづらしかって居

ました。今日は第
 二日目の授業があ

りました。一時間目
 は、國語でした。お宮

のけいだいだったの
 で、讀むだけでした。

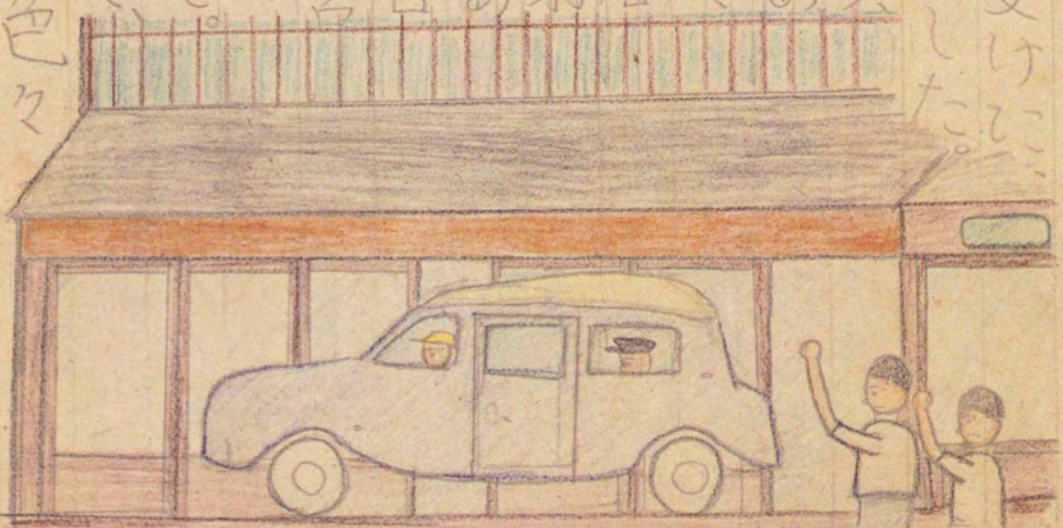
二時間目は算數で
 お宮のけいだいの色々

の物の高さをはか
 三時間目は圖畫でし

たが小林先生が
 いらつしゃなかつた

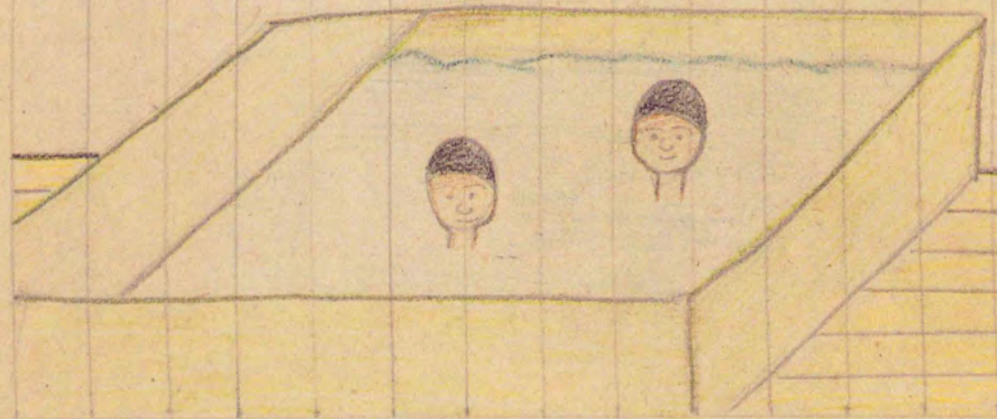
ので自修にな
 りました。四時間目

もなかつたので、
 寮に歸って繪日記



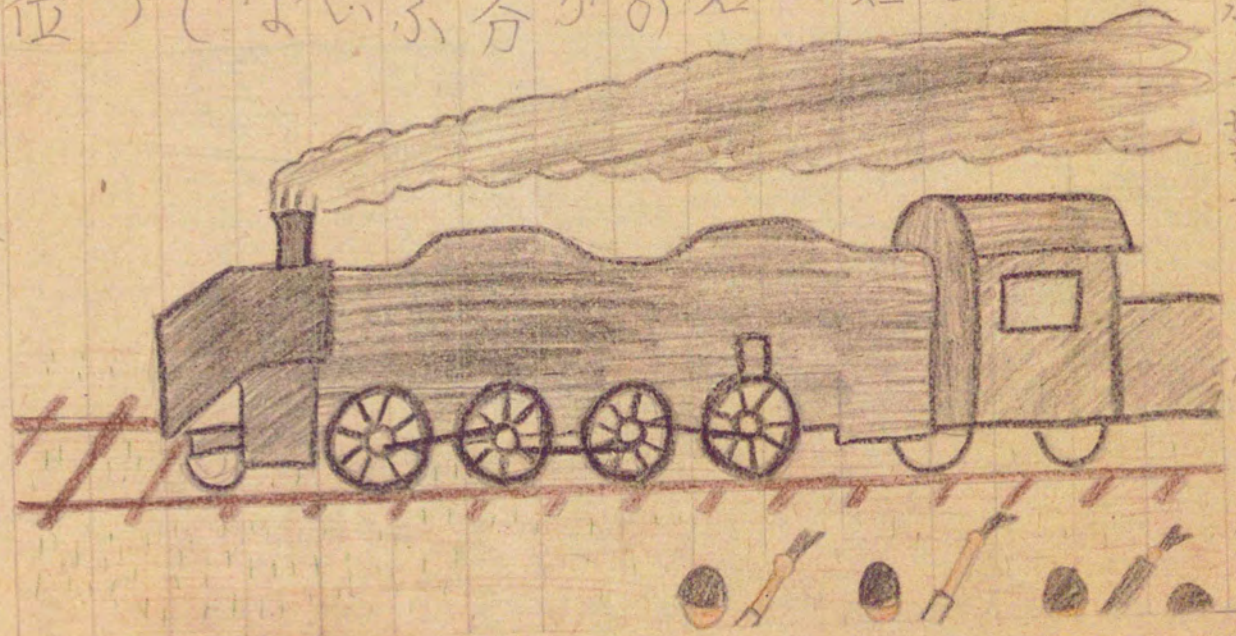
十月四日(木曜日)雨

今日は第五日目の授業がありました。時間目は図書でした。が
本村先生が米運び
でいっしょしゃりな
かったので自修に
なりました。二時
間目は國語で八木
君と小野君が明日
歸るのであわか
れの會をしまし
た。三時間目は理
科でした。四時間
目は算數でした。
午後寮で入浴を
しました。僕は
小野君と河井君
と宮地先生とっしよにいりまし
た。これ皆とっしよにお風呂に
入るのも最後だね。と小野君が
言ひました。夕食は、きなここ
ごまのついたおはぎと南丸の
たのが出ました。夕食後主事先生
のお話がありました。



十月五日(金曜日)雨晴

今日は第六日目の授業がありました。二時
間目は國語でつ
づり方を書き
ました。つづり
方を書いて居る
と、二年生の辻君
が来たので何か
と鬼つたら八木君
を送りに行くの
てした。二等件が
好かった八木君と分
かれるのかと思ふ
と、何だかさびしい
やうなつまらな
いやうな気がし
ました。之きへつ
いてやく十分位
持つて居ると汽車が来ました。汽
八木君はすぐそれに乗りました。汽
車は、やうなうら。と言ふ聲に送ら
れて出發しました。夕食後小野君
が青森縣の家に歸りました。



十月六日(土曜日)晴々

今日は休養日でした。朝食がす

んで寮に歸る時小矢部川の岸

をさん歩いて歸

りました。とても

氣持が良かったで

した。寮へ歸つて

から東京のお家

へハガキを出し

ました。それか

ら日記など書い

て居ました。晝

食後千賀ヤん

をお見送りに

福光のえきまで

行きました。歸

つて来るとす

ぐ夕食になりま

した。夕食

を食べて来てか

ら寮で娯樂會

をやりました。

一等終りに全

部

でウラ島太郎

のげきをやり

ま

した。とても

面白かったです。

先生方のお話

は宮地先生のお話

がありました。



十月七日(日曜日)晴々

今日は王事先生の御案内で立

のヶ原の向かふのかまがふちと

言ふ所まで行

軍しました。

行く途中どこ

かのお宮のけ

いだいで二十分

休けいしました。

かまがふちへ行

つて見るととて

もすごい所で落

ちたらずぐ死ん

でしまひさうな

所でした。それ

からあべん當を

食べました。あな

かがへつて居た

せいかととても

おい

しかつたです。

あべん當を食

べて

から林に栗を

ひろひに行き

ましました。

學校へ歸つて

来ると河井君

のお母

様とお姉様と

横井君のお父

様がい

らっしゃって

いぬました。

夕食の時

ビスケットが

はいきゆうに

なりました。

とてもおいし

かったです。



十月八日(月曜日)雨 ◆

今日は第一日目の授業がありました。時間目は国語でした。かきょうが

使へなかつたので、自修になりました。

二時間目は算数で中村寮に行つてやりましました。

三時間目は圖書でかまがふちの繪を書きました。

四時間目は音楽でした。がピアノがないので自修になりました。

午後寮に歸つてから、闘球ばんやごもくならべなどやっ

て遊びました。それから内海ヤンが東京の家へ歸るので福光のえきまで送りに行きました。歸つて来るとすぐおやつ

はカンパンと柿でした。とてもおいしかったです。

